

川崎陸送

プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」の公式スポンサーに
ホームゲームで使用される備品の保管・配送・搬入・搬出を無償提供

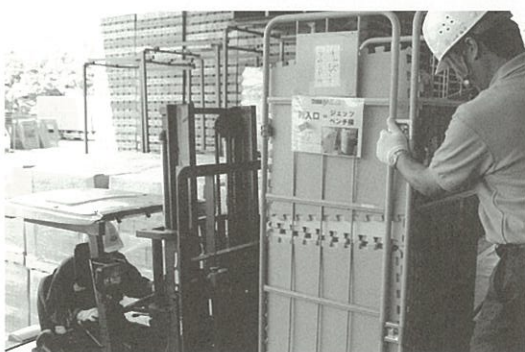


川崎陸送（本社・東京都港区、樋口恵一社長）では、プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」の公式スポンサーとなった。「千葉ジェッツ」は千葉県船橋市に本拠を置き、船橋アリーナをはじめ

があるということが重要だ」。ホームゲームのチケットを従業員に希望者に配布するなど福利厚生の実も図る。千葉県にも近い、川崎陸送の葛西流通センター（東京都江戸川区）では、菓子などの流通加工に力を入れており、こうした福利厚生がパートタイマーの確保に有効とみる。「パートの募集は手間と時間を要し、「現在働いているパートさんの口コミや、友人を（川崎陸送のパートに）誘ってくれるとありがたい」と話す。

千葉県内の体育館をホームとして試合を行っている。スポンサー契約は輸送・保管協力に関するもので、ホームゲームで使用される備品の保管・配送・搬入・搬出を川崎陸送が無償提供。一方、「千葉ジェッツ」は選手のユニフォームに川崎陸送のロゴを掲出したり、「千葉ジェッツ」ホームページのリンクバナー、コートサイドの看板で川崎陸送の宣伝を行う。

今回のスポンサー契約には、「千葉ジェッツ」の試合などで川崎陸送のロゴの露出を高めることで、ドライバーやパートタイマーなどの労働力確保につなげたいという狙いがある。樋口社長によると「事務職の応募者は企業研究などを行って応募してくる。一方、ドライバーやパートタイマーの応募動機としては、『KRT（川崎陸送の略称）』を知っている、見たこと



「千葉ジェッツ」の備品（選手の座る椅子、看板、コートに張る広告のフィルム、会場に敷くカーペット、ユニフォームなど応援グッズ、試合会場で使う放送機材など）3〜4トトラック3両分）を葛西流通センターで保管し、土・日曜日の試合用に金曜日の夕方に会場に搬入。日曜日の試合終了後に引き取りを行う。金曜日の午後は車両の余裕があり、会場も千葉県に限定されるため、比較的取り組みやすかったそう。これまで川崎陸送では菓子、飲料メーカーのスポーツのイベ

ント物流は手掛けたことがあったが、長期的なイベント物流は初めて。樋口氏は「会場の下見を行ったり、台車などを製作して効率的な備品の保管・搬出入を工夫するなど、従来の運送や

保管、流通加工業務にも役立つノウハウを蓄積できる。『千葉ジェッツ』にとっても物流費が無料になるほか、在庫管理も行えるようになる」と話す。

日化協

危険物輸送における安全管理をテーマに東京・大阪で講習会

陸上輸送関係では危険物の道路輸送とイエローカードをテーマに学ぶ

日本化学工業協会（高橋恭平会長）では11月6日に大阪、14日に東京で危険物輸送における安全管理をテーマに講習会を開催した。陸上輸送関係では、宇部興産環境安全部の秦野耕司主席部員が「危険物の道路輸送とイエローカードについて」話した。

物の輸送時に、製品別のイエローカードを常時携帯。事業者はイエローカードに基づき、事故時の措置を乗務員に教育し、事業者内の緊急連絡体制の整備により、運用の充実を図ることとされた。

消防守の2012年中の危険物にかかる事故

イエローカードの携行対象は、消防法、毒物および劇物取締法、高圧ガス保安法、火薬類取